

2016年1月1日

2016年 年頭所感

一般社団法人日本化学工業協会
会長 小林 喜光

新年あけましておめでとうございます。

先月のCOP21では、温暖化是正に向けて、これまでにない有益な議論がなされましたが、温暖化以外にも、世界では、資源、食糧・水不足、異常気象の頻発等の様々な問題、いわゆる「グローバルアジェンダ」を抱えており、その解決はいずれも待たなしの状況です。子ども、孫、更にその先の世代が、安心して暮らせる社会をつくるためにも、一刻も早く従来の価値観から脱却し、新たな変革、イノベーションを生み出していく必要があると考えています。

さて、日化協は、本年も「安全の強化と水平展開」、「イノベーションの創出と社会への貢献」、「社会とのコミュニケーションの更なる向上」の3つのキーワードに沿って活動してまいります。主な活動は、以下のとおりです。

- 昨年改正されました労働安全衛生法に基づき、本年、作業場のリスクアセスメントが義務化されることを受け、実施を間近に控えた法対応のサポートを実施いたします。具体的には、作業者のリスクアセスメントに特化した支援コンテンツを構築し、更に、混合物のリスクアセスメントツールの実装に向けて、順次バージョンアップを行ってまいります。また、対応に向けたセミナー等を開催し、会員企業・団体に周知・徹底を図ってまいります。
- 「イノベーションの創出」に向け、将来の化学産業を担う人材の育成として、主に大学院博士前期・後期課程の学生に対し、化学産業の重要性、役割、そして、これまでの社会に対する貢献等を理解いただくための講座の開設について、検討を進めてまいります。本年前半には、具体的な内容をまとめ、2017年から開始できるよう、具体的に大学院への提案していく予定です。
- 化学産業の将来を見据え、「第4次産業革命」のカギとなるIoTやビッグデータの活用について、検討を進めてまいります。外部の有識者へのヒアリング、関係省庁との議論等を行いながら、本年3月末をめどに、結論を出す予定です。
- 社会とのコミュニケーションの向上については、活動を開始して3年が経ち、少しずつ定着し始めた、10月23日の「化学の日」を中心に、引き続き「化学」への理解、「化学」の魅力について、発信を強化してまいります。

本年も日化協は、日本の化学産業の持続的発展のために、努力してまいります。

以上